

少子高齢化が進む地域における地域資源の再発見と未来への活用

日本文理大学工学部建築学科 池畑義人・中西章敦

国東市の現状

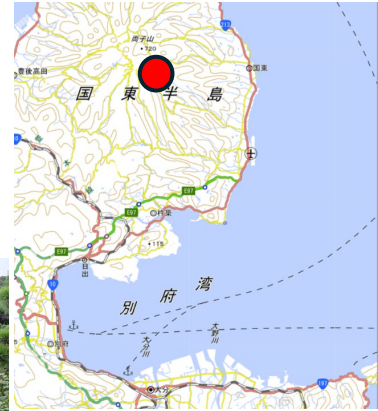
- 1300年前に神仏習合の地として六郷満山が開かれ、2013年にはため池で形成された里山が世界農業遺産に認定されるなど、豊かな地域資源に恵まれている。
- 人口は23000人で高齢化率は40%を超え、2045年には人口が半減し高齢化率は60%に迫ることが予想されており、少子高齢化による地域の衰退が危惧されている。



七島蘭の花



里山林



国東市安岐町両子地区の位置

事業の目的

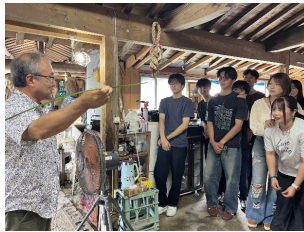
- 建築学科の学生がフィールドワークにより地域の人との交流を通じて地域の魅力を知る
- グループワークを通じて地域の魅力と課題を分析して、学生ならではの視点で地域資源の維持・活用案を創出する。

スケジュール

- 7月：学内での調査計画立案
- 9月：両子寺・ななつむぎ・梅園資料館等の調査
- 10月：調査結果の取りまとめ・追加調査計画
- 11月：鬼会保全会・鬼橋などの追加調査
- 12月～1月：調査結果取りまとめ・提案作成



寺田氏の講話（両子寺）
地域が抱える課題を整理し、国東地区の成り立ちについて学ぶ



七島蘭体験(ななつむぎ)
七島蘭の歴史と現状について学び、七島蘭の加工を体験する



三浦梅園記念館見学
安岐町出身の賢人、三浦梅園の思想を学ぶ。



フィールドワークまとめ
宿泊先で、その日の成果をまとめて翌日の計画を立てる。



修正鬼会保存会取材
修正鬼会保存会の会長宅にうかがって修正鬼会の歴史と現状についてインタビューする。



農業の取材
世界農業遺産協議会会長の林氏宅にうかがって、害虫や人手不足など農業の現状をインタビューする。



鬼橋の調査
両子寺の鬼橋を復元するためのデータ収集のために現地調査を実施して、復元のための基礎資料を作成する。



七島蘭トンネルの模型
七島蘭のカーボンオフセット機能に着目したサイクリング用トンネルを提案し、その模型を製作した。

現地調査をもとに①両子寺の鬼橋の修復計画、②修正鬼会で学生ができること、③農業の省力化のための技術提案（農業ベンチャー）、④七島蘭の活用方法のテーマに取り組んだ。

- ①鬼橋修復計画は文化財保護と橋としての機能維持が両立できる方法を提案した
- ②修正鬼会は鬼会自体が中止になってしまい文献調査とインタビューを実施した
- ③農業ベンチャーはAIの画像認識を使ったゼンマイ栽培効率化の実証実験に挑戦した
- ④七島蘭のカーボンオフセット機能に着目して七島蘭をイメージしたサイクリングロードのトンネルを提案した